

VIII 各授業科目

1. 授業科目表及び履修に関する注意事項

(1) 基礎セミナー

〔授業科目表〕

授 業 科 目		単位数	備 考
基 礎 セ ミ ナ ー A	演 習	2	
基 礎 セ ミ ナ ー B	演 習	2	

〔履修に関する注意事項〕

開講形態		文系のみ のクラス	文理融合クラス	理系のみ のクラス		
対象学部	開講時期	① 文 学 部 教育学部 法 学 部 経済学部 情報(人社)	② 文 学 部 情報(自然・コン) 教育学部 理学部 法 学 部 医学部 経済学部 工学部 情報(人社) 農学部	④ 情報(自然・コン) 理学部 医学部 工学部 農学部	③ 医学部(医)	⑤ 医学部(保)
基礎セミナーA	火曜 4 限 木曜 4 限	○ ○				
	月曜 5 限 木曜 5 限		○ ○		○	
I 期 (春学期)	月曜 4 限 火曜 5 限 水曜 3 限 金曜 4 限 金曜 5 限			○ ○ ○ ○ ○		○
基礎セミナーB	火曜 4 限 木曜 4 限	○ ○				
	月曜 5 限 木曜 5 限		○ ○		○	

(注) 対象学部以外に開講されている基礎セミナーは、受講できませんので注意してください。

1. 開講形態

- ① 文 系 の み の ク ラ ス : I 期及びII期を通じて、同じクラスで受講。
- ② 文 理 融 合 ク ラ ス : I 期及びII期、それぞれクラスを選択して受講。
(原則として、文系学部6名、理系学部6名)
- ③ 理系(医・医)のクラス : I 期及びII期、それぞれクラスを選択して受講。
- ④ 理 系 の み の ク ラ ス : I 期のみ受講。
- ⑤ 理系(医・保)のクラス : I 期のみ受講。

2. 受講希望調査

- (1) 各基礎セミナーは、12名という受講者数制限があります。
- (2) ガイダンス前にシラバスにより希望するテーマ(授業)をよく考えておいてください。
- (3) シラバスにより希望するテーマを第6位まで選択してください。
なお、この際に希望するテーマが時間割上、「同じ時間帯」の授業に集中しないようにしてください。
- (4) 理系学生は、希望するテーマが基礎セミナーB(II期)に開講されている場合には、I期の受講申請をせずに、II期において受講することができます。
- (5) 理系学生で「④理系のみクラス」及び「⑤理系(医・保)のクラス」を受講した学生が、さらにII期にも受講を希望する場合には、「②文理融合クラス」を受講することができます。

3. 受講調整と調整結果

- (1) 受講調整は、受講希望に基づいて、受講者数制限（定員 12 名）まで割り振り、どの基礎セミナーに所属するかを決定します。
その際、第 6 希望までのテーマに入らない場合は、他の基礎セミナーに割り振られることがあります。
- (2) 一度決定された基礎セミナーからの変更及び辞退は、原則としてできません。

4. 文系学生及び医学部・医学科学生の単位補充

- (1) 基礎セミナー A 及び基礎セミナー B で単位を修得できなかった場合は、次年度で修得することになります。
- (2) シラバス等で、Ⅰ期・Ⅱ期を通じて同じクラスで受講することが指示されている授業については、年度をまたがって履修することができませんので、担当教員の指示に従ってください。
また、各学部の基礎セミナー受講に関するガイダンスに従ってください。

5. 理系学生（医学部・医学科を除く）の単位補充

基礎セミナー A で単位の修得ができなかった場合は、基礎セミナー B を修得することで、単位補充をすることができます。

(2) 言語文化

〔授業科目表〕

授業科目			単位数	備考
言語文化Ⅰ	英語（基礎）	演習	1	
	英語（中級）	演習	1	
	英語（コミュニケーション）	演習	2	
	英語（上級）	演習	2	
	英語（セミナー）	演習	2	
	英語（上級リーディング）1	演習	1	
	英語（上級リーディング）2	演習	1	
	英語（サバイバル）	演習	1	随意科目
	ドイツ語 1	演習	1.5	
	ドイツ語 2	演習	1.5	
	ドイツ語 3	演習	1.5	
	ドイツ語 4	演習	1.5	
	フランス語 1	演習	1.5	
	フランス語 2	演習	1.5	
	フランス語 3	演習	1.5	
	フランス語 4	演習	1.5	
	ロシア語 1	演習	1.5	
	ロシア語 2	演習	1.5	
	ロシア語 3	演習	1.5	
	ロシア語 4	演習	1.5	
	中国語 1	演習	1.5	
	中国語 2	演習	1.5	
	中国語 3	演習	1.5	
	中国語 4	演習	1.5	
	スペイン語 1	演習	1.5	
	スペイン語 2	演習	1.5	
	スペイン語 3	演習	1.5	
	スペイン語 4	演習	1.5	
	朝鮮・韓国語 1	演習	1.5	
	朝鮮・韓国語 2	演習	1.5	
	朝鮮・韓国語 3	演習	1.5	
	朝鮮・韓国語 4	演習	1.5	
	日本語（口頭表現）1	演習	1.5	外国人留学生を対象
	日本語（口頭表現）2	演習	1.5	外国人留学生を対象
	日本語（文章表現）1	演習	1.5	外国人留学生を対象
	日本語（文章表現）2	演習	1.5	外国人留学生を対象

授業科目			単位数	備考
言語文化Ⅱ	特別英語セミナー（ライティング）1	演習	2	
	特別英語セミナー（ライティング）2	演習	2	
	特別英語セミナー（プレゼンテーション）1	演習	2	
	特別英語セミナー（プレゼンテーション）2	演習	2	
	特別英語セミナー（リーディング）1	演習	2	2021年度は開講しない
	特別英語セミナー（リーディング）2	演習	2	
	特別英語セミナー（資格試験英語）1	演習	2	
	特別英語セミナー（資格試験英語）2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級ドイツ語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級ドイツ語2	演習	2	2021年度は開講しない
	中級ドイツ語1	演習	2	
	中級ドイツ語2	演習	2	
	上級ドイツ語1	演習	2	2021年度は開講しない
	上級ドイツ語2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級フランス語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級フランス語2	演習	2	2021年度は開講しない
	中級フランス語1	演習	2	
	中級フランス語2	演習	2	
	上級フランス語1	演習	2	2021年度は開講しない
	上級フランス語2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級ロシア語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級ロシア語2	演習	2	2021年度は開講しない
	中級ロシア語1	演習	2	
	中級ロシア語2	演習	2	
	上級ロシア語1	演習	2	2021年度は開講しない
	上級ロシア語2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級中国語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級中国語2	演習	2	2021年度は開講しない
	中級中国語1	演習	2	
	中級中国語2	演習	2	
	上級中国語1	演習	2	2021年度は開講しない
	上級中国語2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級スペイン語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級スペイン語2	演習	2	2021年度は開講しない
	中級スペイン語1	演習	2	
	中級スペイン語2	演習	2	
	上級スペイン語1	演習	2	2021年度は開講しない
	上級スペイン語2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級朝鮮・韓国語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級朝鮮・韓国語2	演習	2	2021年度は開講しない
	中級朝鮮・韓国語1	演習	2	
	中級朝鮮・韓国語2	演習	2	
	上級朝鮮・韓国語1	演習	2	2021年度は開講しない
	上級朝鮮・韓国語2	演習	2	2021年度は開講しない
	初級古典ギリシア語1	演習	2	2021年度は開講しない
	初級古典ギリシア語2	演習	2	2021年度は開講しない

	初級ラテン語 1	演習	2	2021 年度は開講しない
	初級ラテン語 2	演習	2	2021 年度は開講しない
	初級イタリア語 1	演習	2	
	初級イタリア語 2	演習	2	
	初級ポルトガル語 1	演習	2	
	初級ポルトガル語 2	演習	2	
	中級ポルトガル語 1	演習	2	2021 年度は開講しない
	中級ポルトガル語 2	演習	2	2021 年度は開講しない
	ベトナム語入門	演習	2	2021 年度は開講しない
	上級日本語（文章表現）1	演習	2	外国人留学生を対象
	上級日本語（文章表現）2	演習	2	外国人留学生を対象
言語文化Ⅲ	文化事情（英語）	演習	2	英語及び英語以外の外国語
	文化事情（ドイツ）1	演習	1	科目の単位として扱わない
	文化事情（ドイツ）2	演習	1	
	文化事情（フランス）1	演習	1	
	文化事情（フランス）2	演習	1	
	文化事情（中国）1	演習	1	2021 年度は開講しない
	文化事情（中国）2	演習	1	2021 年度は開講しない

[履修に関する注意事項]

1. 英語

①言語文化Ⅰ（必修科目）

教育学部，法学部，経済学部，医学部（医），農学部

コース	I 期	II 期	III 期	IV 期	備考
A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	卒業単位として， 英語（基礎）1 単位， 英語（中級）1 単位， 英語（コミュニケーション）2 単位， 英語（上級）2 単位， 英語（セミナー）2 単位 が必要
Pre-A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	
B	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	
C	英語（サバイバル） 英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	英語（セミナー）	

文学部

コース	I 期	II 期	III 期	IV 期	備考
A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	卒業単位として， 英語（基礎）1 単位， 英語（中級）1 単位， 英語（コミュニケーション）2 単位， 英語（上級）2 単位， 英語（上級リーディング）計 2 単位 が必要
Pre-A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	
B	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	
C	英語（サバイバル） 英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級） 英語（上級リーディング）1	英語（上級リーディング）2	

情報学部，理学部，工学部

コース	I 期	II 期	III 期	備考
A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	卒業単位として， 英語（基礎）1 単位， 英語（中級）1 単位， 英語（コミュニケーション）2 単位， 英語（上級）2 単位 が必要
Pre-A	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	
B	英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	
C	英語（サバイバル） 英語（基礎）	英語（中級） 英語（コミュニケーション）	英語（上級）	

医学部（保）

コース	I 期	II 期	III 期	備考
A	英語（基礎）	英語（中級）	英語（コミュニケーション）	卒業単位として， 英語（基礎）1 単位， 英語（中級）1 単位， 英語（コミュニケーション）2 単位 が必要
Pre-A	英語（基礎）	英語（中級）	英語（コミュニケーション）	
B	英語（基礎）	英語（中級）	英語（コミュニケーション）	
C	英語（サバイバル） 英語（基礎）	英語（中級）	英語（コミュニケーション）	

- (1) 入学時のプレイスメント・テストにより、A, Pre-A, B, C のコース分けを行います。
- (2) 「英語 (サバイバル)」はCコース学生のみが受講します。受講定員は原則 40 名であり、1 単位の授業です。ただし、成績評価は「P」または「NP」によってなされ、取得単位は卒業に必要な単位に認定されません。
なお、C コースの学生はこの授業に「合格(P)」しないと 2 年次の「英語」授業を受講できません。
- (3) 「英語 (基礎)」の受講定員は原則 40 名であり、1 単位の授業です。
- (4) 「英語 (中級)」の受講定員は原則 40 名であり、1 単位の授業です。
- (5) 「英語 (コミュニケーション)」の受講定員は原則 20 名であり、2 単位の授業です。
- (6) 「英語 (上級)」の受講定員は原則 20 名であり、2 単位の授業です。
- (7) 「英語 (セミナー)」の受講定員は原則 25 名であり、2 単位の授業です。
- (8) 「英語 (上級リーディング)」の受講定員は原則 40 名であり、1 単位の授業です。
- (9) 各期に受講できる単位数は次のとおりです。この上限を超えて履修することはできません。なお、IV期以降は、不足単位数分のみ受講できます。
ただし、これは言語文化Ⅰの受講制限であって、言語文化Ⅱは以下の計算式には含まれません。
 - 1) 教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部 (医)、工学部、農学部の場合
 - I 期：1
 - Ⅱ期：4－[Ⅰ期の修得単位数] (上限は 4 単位)
 - Ⅲ期：6－[Ⅰ期、Ⅱ期の修得単位数] (上限は 6 単位)
 - 2) 文学部の場合
 - I 期：1
 - Ⅱ期：4－[Ⅰ期の修得単位数] (上限は 4 単位)
 - Ⅲ期：7－[Ⅰ期、Ⅱ期の修得単位数] (上限は 7 単位)
 - 3) 医学部保健学科の場合
 - I 期：1
 - Ⅱ期：2－[Ⅰ期の修得単位数] (上限は 2 単位)
 - Ⅲ期：4－[Ⅰ期、Ⅱ期の修得単位数] (上限は 4 単位)
- (10) 言語文化Ⅰで修得すべき単位は、言語文化Ⅰの授業を受講して取得するのが原則ですが、言語文化Ⅱによって単位を取得した場合、そこで得た単位により最大 2 単位までを代替することが可能です。ただし、「英語(サバイバル)」に代替することはできません。また、これとは別に、「検定試験による単位認定制度」により、「英語 (基礎)」、「英語 (中級)」、「英語 (コミュニケーション)」のうち指定科目の修得単位とすることができます。
- (11) 「英語 (基礎)」及び「英語 (サバイバル)」を除く言語文化Ⅰの授業は、対象学部、あるいは複数の指定クラス内 (工学部) での選択制となっています。指定クラスの授業を放棄して、他の授業を受講することはできません。「英語 (基礎)」及び「英語 (サバイバル)」(C コース学生のみ受講) は授業を選択することなく、指定された授業を受講します。
- (12) 履修登録をしたにもかかわらず登録ができていなかった場合、及び履修登録期間に履修登録ができなかった場合は、定員を充足していない授業を受講することになります。

- (13) 「英語 (サバイバル)」に「合格(P)」できなかった場合は、2 年次開講の「英語」授業を履修することができません。「不合格」評価を得た場合は、「英語 (サバイバル)」を再度履修して「合格」評価を得なければなりません。

「英語 (基礎)」、「英語 (中級)」、「英語 (コミュニケーション)」、「英語 (上級)」で単位を取得できなかった場合は、同一名称の授業を再度履修するか、または、同一名称授業の単位補充クラスを受講して単位を取得しなければなりません。

「英語 (セミナー)」で単位を取得できなかった場合は、同一名称の授業を再度履修することによって、単位を取得しなければなりません。

「英語 (上級リーディング) 1」または「英語 (上級リーディング) 2」で単位を取得できなかった場合は、「英語 (上級リーディング) 1」または「英語 (上級リーディング) 2」を履修することによって、またはどちらかを複数履修することによって、卒業に必要な単位を取得しなければなりません。なお、「英語 (上級リーディング)」においては、同一教科書による授業を 2 つ受講しても、単位は認められないので注意してください。

- (14) 「英語 (サバイバル)」では、再試験が行われることがあります。

- (15) 単位補充クラスについて

授業を 5 回以上欠席した場合、成績が「W」となり、次の期に開講される当該科目の単位補充クラスの授業を受ける資格を失います。

同一科目の単位補充クラスを複数履修登録した場合、いずれの登録も削除され、履修不可となります。

単位補充クラスを受講する場合は、第 1 回目の授業に出席して受講資格の確認及び受講許可が得られなければ、当該学期に履修することはできません。

②言語文化

春学期	秋学期
特別英語セミナー（ライティング）1	特別英語セミナー（ライティング）2
特別英語セミナー（プレゼンテーション）1	特別英語セミナー（プレゼンテーション）2
特別英語セミナー（リーディング）1	特別英語セミナー（リーディング）2
特別英語セミナー（資格試験英語）1	特別英語セミナー（資格試験英語）2

- (1) 言語文化Ⅱの受講定員は原則として20名であり、2単位の授業です。
- (2) 言語文化Ⅱはいずれの学年においても受講することができます。ただし、各期ともいずれか1クラスしか受講できません。また、検定試験の点数による受講制限（TOEFL ITP 515, TOEFL iBT 67, TOEIC 630, IELTS 5.5以上）があります。
受講希望者は、教養教育院事務室で受講申請を行ってください。この手続きを怠ると受講が認められません。
- (3) 言語文化Ⅱを受講することによって取得した単位のうち、最大2単位までを言語文化Ⅰの単位として取り扱うことができます。ただし、「英語(サバイバル)」に代替することはできません。
- (4) 同一教科書の授業を2つ受講しても、単位は認められないので注意してください。
- (5) 言語文化Ⅱは再試験を行いません。

③言語文化Ⅲ 文化事情（英語）

- (1) 言語文化Ⅲを、言語文化Ⅰあるいは言語文化Ⅱの単位補充のために受講することはできません。
- (2) 海外協定大学が提供する語学研修プログラムに参加して語学力を向上させ、帰国後にプレゼンテーションを行うことで単位認定がされます。

④履修相談

〔英語〕 内田教員（国際開発棟 8 階 801 号室, TEL : 052-789-4984
E-mail : uchida@cc.nagoya-u.ac.jp)

〔検定試験による単位認定制度〕

この制度は、英語及び英語以外の外国語の検定試験で所定の認定または点数を得た学生に対し、その認定または点数に基づいて、「英語（基礎）」・「英語（中級）」・「英語（コミュニケーション）」及び英語以外の外国語の「言語文化Ⅰ」の単位を認定するものです。

概要及び単位認定申請方法等について、以下に説明しますので、よく読んで間違いのないようにしてください。

1. 本制度が適用される学生

2021 年度入学生

（2020 年度以前入学生は、入学年度の履修の手引で検定試験の種類、認定単位数を確認してください。）

2. 単位認定の対象となる検定試験は次のとおりです。

「英語」

- ① 実用英語技能検定試験（英検）
- ② 技術英語能力検定（技術英検）
- ③ 国際連合公用語・英語検定試験（国連英検）
- ④ Test of English as a Foreign Language (TOEFL)
- ⑤ Test of English for International Communication (TOEIC)
- ⑥ ケンブリッジ英語検定（ケンブリッジ英検）
- ⑦ International English Language Testing System (IELTS)

「英語以外の外国語」

- ① ゲーテ・ドイツ語検定試験
- ② ドイツ語技能検定試験（独検）
- ③ DELF (Diplôme d'études en langue française)
- ④ 実用フランス語技能検定試験（仏検）
- ⑤ ロシア語検定試験（ТРКИ）
- ⑥ ロシア語能力検定試験
- ⑦ 中国語検定試験（中検）
- ⑧ 漢語水平考試（HSK）
- ⑨ DELE (Diplomas de español como lengua extranjera)
- ⑩ スペイン語技能検定（西検）
- ⑪ 韓国語能力試験（TOPIK）
- ⑫ ハングル能力検定試験（ハン検）

3. 認定される単位数

検定試験の結果に基づいて、単位認定を受けるには、指定された検定試験のいずれかにおいて、次表に定める認定または点数を得なければなりません。レベル・級位に応じ、対象授業科目のうちから認定可能単位

数の範囲内で認定されます。

なお、検定試験の認定日または受験日は、単位認定申請時の2年前までに限ります。

また、英語については、1年次4月と12月に行われる TOEFL ITP は含まれませんので、注意してください。

○英語

検定試験の種類（実施団体）	レベル・級位	認定対象授業科目	認定可能単位数
実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）	一級	英語（基礎） 英語（中級） 英語（コミュニケーション）	左記の授業科目の内から、最大2単位
技術英語能力検定 （公益社団法人日本工業英語協会）	プロフェッショナル		
国際連合公用語・英語検定試験 （公益財団法人日本国際連合協会）	A級, 特A級		
TOEFL: Test of English as a Foreign Language（一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会）	88 以上		
TOEIC: Test of English for International Communication Listening & Reading Test （一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）	787 以上		
ケンブリッジ英語検定 （ケンブリッジ大学英語検定機構）	C1Advanced, C2Proficiency		
IELTS: International English Language Testing System（公益財団法人日本英語検定協会）	7.0 以上		

* いずれの検定試験も、正規の公開試験の結果のみが単位認定の対象となります。

○英語以外の外国語

言語	検定試験の種類（実施団体）	レベル・級位	認定対象授業科目	認定可能単位数
ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験 （GOETHE INSTITUT）	A1	ドイツ語1～4	3単位
		A2, B1～C2	ドイツ語1～4	6単位
	ドイツ語技能検定試験 （公益財団法人ドイツ語学文学振興会）	4級	ドイツ語1～4	3単位
		3級～1級	ドイツ語1～4	6単位
フランス語	DELF （日本フランス語試験管理センター）	DELF A1	フランス語1～4	3単位
		DELF A2, B1～C2	フランス語1～4	6単位
	実用フランス語技能検定試験 （公益財団法人フランス語教育振興協会）	3級	フランス語1～4	3単位
		準2級～1級	フランス語1～4	6単位
ロシア語	ロシア語検定試験 （日本対外文化協会）	入門レベル	ロシア語1～4	3単位
		基礎レベル, 第1～第4レベル	ロシア語1～4	6単位
	ロシア語能力検定試験 （ロシア語能力検定委員会）	4級	ロシア語1～4	3単位
		3級～1級	ロシア語1～4	6単位
中国語	中国語検定試験 （一般財団法人日本中国語検定協会）	4級	中国語1～4	3単位
		3級～1級	中国語1～4	6単位
	漢語水平考試（HSK） （HSK 日本実施委員会）	4級	中国語1～4	3単位
		5, 6級	中国語1～4	6単位
スペイン語	DELE （セルバンテス文化センター）	DELE A1	スペイン語1～4	3単位
		DELE A2, B1～C2	スペイン語1～4	6単位
	スペイン語技能検定 （公益財団法人日本スペイン協会）	5級	スペイン語1～4	3単位
		4級～1級	スペイン語1～4	6単位
朝鮮・韓国語	韓国語能力試験 （大韓民国教育省・国立国際教育(NIIED)）	2級	朝鮮・韓国語1～4	3単位
		3級～6級	朝鮮・韓国語1～4	6単位

	ハングル能力検定試験 (特定非営利活動法人ハングル能力検定協会)	4 級	朝鮮・韓国語 1～4	3 単位
		3 級～1 級	朝鮮・韓国語 1～4	6 単位

* いずれの検定試験も、正規の公開試験の結果のみが単位認定の対象となります。

[注意] 卒業単位としての取扱いについては学部により異なりますので、注意してください。

- ① 検定試験の結果により単位認定を受けることができるのは、英語で最大 2 単位、英語以外の外国語で最大 6 単位までです。
- ② 既に当該学部の英語または英語以外の外国語に関する卒業必要単位数を充足している場合は、検定試験による単位認定は行われません。
- ③ 英語以外の外国語について、上記の表の定めるところに従い 3 単位の認定を受けた学生が、その後の検定試験において、6 単位の認定を受けるに値する認定または点数を得た場合には、所定の手続きを経た後、本学の単位としてさらに 3 単位の認定を受けることができます。ただし、一つの検定試験により単位認定を受けたうえで、さらに異なる検定試験において同水準の成績を修めても、単位は加算されません。
- ④ 他大学で取得した単位は、最大で 60 単位まで本学の単位として認定できることになっており、検定試験により認定される単位は、その 60 単位の中に含まれます。(名古屋大学通則第 23 条の 2 参照)
- ⑤ 英語について、C コースの学生で、英語検定試験で単位認定を受けた者は、「英語 (サバイバル)」の履修を免除します。
- ⑥ 検定試験による単位認定を受けた授業科目の成績評価は「T」となります。ただし、GPA には算入しません。
- ⑦ 英語は、既に単位を修得している科目には認定しません。
- ⑧ 英語以外の外国語については、履修中の言語以外の言語の検定試験についても申請することは可能です。
- ⑨ 英語の 2 科目 (英語 (基礎) の 1 単位、英語 (中級) の 1 単位) の 2 単位分を春学期又は秋学期のどちらかの学期に申請することが可能です。なお、同じ検定試験の結果で、英語 (基礎) の 1 単位、英語 (中級) の 1 単位を、学期を分けて申請することも可能です。また、検定試験の結果は、単位認定申請時の 2 年前まで有効となります。

4. 単位認定の申請

検定試験において所定の認定または点数を得た学生が、言語文化科目の単位として認定を希望する場合は、次に示す期間に教養教育院事務室に申請してください。申請手続きについては名大ポータルの教養教育院ページにて発表します。

春学期単位認定申請期間：2021 年 4 月 12 日 (月)～2021 年 4 月 16 日 (金)

秋学期単位認定申請期間：2021 年 10 月 4 日 (月)～2021 年 10 月 8 日 (金)

5. 単位認定の流れ

申請後、英語小部会又は初修外国語部会にて審査します。その際面接等はありません。申請書類に問題がなければ、申請した期の Web (教務システム) の「修得科目確認(成績照会)」で単位が確認できます。

6. 単位認定を受けた学生に対する措置

単位認定を受けた学生には、卒業単位ないし進級単位の修得上の必要の有無にかかわらず、たとえば言語文化Ⅰよりも高度なレベルの語学能力の養成を目指す言語文化Ⅱの授業を受講する方法により、英語及び英語以外の外国語の学習をさらに積極的に継続するよう奨励します。

2. 英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語）の履修に関する注意事項（英語以外の外国語の1言語については、以下【英語以外の外国語】と表記する）

英語以外の外国語の選択にあたっては各言語を紹介するホームページを参考にしてください。

<http://lang.ilas.nagoya-u.ac.jp>



① 言語文化Ⅰ（必修科目）

	I 期	II 期	III 期
学部指定オビ	【英語以外の外国語】1 【英語以外の外国語】2	【英語以外の外国語】3 【英語以外の外国語】4	
学部指定オビ以外 (5 時限目開講)		【英語以外の外国語】1 【英語以外の外国語】2	【英語以外の外国語】3 【英語以外の外国語】4

- (1) 受講定員は原則として 30 名であり、1.5 単位の授業です。
- (2) I 期に履修した【英語以外の外国語】を、II 期に異なる【英語以外の外国語】に変更を希望する場合は、変更前と変更後の言語担当教員（89 ページ参照）に相談してください。この場合、学部指定オビ以外（II, III 期の 5 時限目）に開講されるクラスで受講し、【英語以外の外国語】1, 2, 3, 4 を合計した 6 単位（1 言語の合計 6 単位）を履修しなければなりません。その中には、【英語以外の外国語】3, 4 を合計した 3 単位が含まれていなければなりません。

学部指定オビ以外のクラスでは、言語を変更する者を優先的に受け入れます。なお、言語を変更した場合、II 期の学部指定オビを受講することはできません。

- (3) 学部指定オビ以外の II 期の【英語以外の外国語】1, 2（5 時限目開講）は、I 期の【英語以外の外国語】1, 2 の単位補充として履修することができます。

なお、III 期の【英語以外の外国語】3, 4（5 時限目開講）は、I 期の【英語以外の外国語】1, 2, II 期の【英語以外の外国語】1, 2（5 時限目開講）及び II 期の【英語以外の外国語】3, 4 の単位補充として履修することができます。

ただし、受講定員は、1 クラス 30 名までという受講者数の制限があります。

- (4) 一つの外国語につき、各期に受講できる単位数は以下のとおりです。この上限を超えて履修することはできません。なお、IV 期以降は、不足単位数分のみ受講できます。ただし、これは言語文化Ⅰの受講制限であり、言語文化Ⅱは以下の計算式に含まれません。

《【英語以外の外国語】を変更しないで I 期から受講している者》

I 期 3

II 期 6 － [I 期の修得単位数]

III 期 6 － [I 期, II 期の修得単位数]

《【英語以外の外国語】を II 期から変更して受講し始めた者》

II 期 3

III 期 6 － [II 期の修得単位数]

② 言語文化Ⅱ（選択または随意科目）

対象学部（学部指定オビ）	Ⅲ 期	Ⅳ 期
文・教・法・経・情報（人社）	中級【英語以外の外国語】1	中級【英語以外の外国語】2

	春学期（1年～4年）	秋学期（1年～4年）
学部指定オビ以外	初級【英語以外の外国語】1 中級【英語以外の外国語】1 上級【英語以外の外国語】1	初級【英語以外の外国語】2 中級【英語以外の外国語】2 上級【英語以外の外国語】2

- (1) 受講定員は原則として30名であり、2単位の授業です。
- (2) 同一名称の科目を複数（学部指定オビと学部指定オビ以外のもの）履修することが可能です。
- (3) 言語文化Ⅱを言語文化Ⅰの単位補充のために受講することはできません。

③ 言語文化Ⅲ

「文化事情（ドイツ）」

- (1) 学部指定はありませんが、ドイツ語を半年以上学んだ学生しか受講することはできません。
- (2) 言語文化Ⅲを、言語文化Ⅰあるいは言語文化Ⅱの単位補充のために受講することはできません。
- (3) 「文化事情（ドイツ）1」の授業は、「文化事情（ドイツ）2」（フライブルク大学での短期ドイツ語研修プログラム）に参加を希望する学生の受講が優先されます。
- (4) 「文化事情（ドイツ）1」を履修しない場合は、「文化事情（ドイツ）2」の単位認定はされません。

「文化事情（フランス）」

- (1) 学部指定はありません。
- (2) 言語文化Ⅲを、言語文化Ⅰあるいは言語文化Ⅱの単位補充のために受講することはできません。
- (3) 「文化事情（フランス）1」の授業は、「文化事情（フランス）2」（ストラスブール大学での短期フランス語研修プログラム）に参加希望の学生を対象としていますが、同プログラムに参加を希望しない学生の受講も可能です。
- (4) 「文化事情（フランス）2」への参加には、本年度春学期までの本学フランス語科目の規定の単位をすべて修得している必要があります。
- (5) 「文化事情（フランス）2」の単位は、「文化事情（フランス）1」の授業を履修し、かつ同プログラムを修了した場合にのみ認定されます。

「文化事情（中国）」

- (1) 学部指定はありません。
- (2) 言語文化Ⅲを、言語文化Ⅰあるいは言語文化Ⅱの単位補充のために受講することはできません。
- (3) 「文化事情（中国）1」の授業は、「文化事情（中国）2」（同济大学での短期中国語研修プログラム）に参加希望の学生を対象としていますが、同プログラムに参加を希望しない学生の受講も可能です。
- (4) 「文化事情（中国）2」の単位は、「文化事情（中国）1」の授業を履修し、かつ同プログラムを修了した場合にのみ認定されます。

④ 【英語以外の外国語】の履修例

(1) 文学部・教育学部・経済学部・情報学部（人社）の場合

◎通常の履修例

I 期	II 期	III 期	IV 期
●【英語以外の外国語】1, 2	●【英語以外の外国語】3, 4	中級 ●【英語以外の外国語】1	中級 ●【英語以外の外国語】2
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位	2 単位	2 単位

◎II期の初めにおいて言語を変更した場合の履修例

I 期	II 期	III 期	IV 期
学部指定オビの ●【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】3, 4 学部指定オビの 中級 ▲【英語以外の外国語】1	学部指定オビの 中級 ▲【英語以外の外国語】2
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5+2=5 単位	2 単位

(2) 法学部の場合

(通常の履修例)

I 期	II 期	III 期	IV 期
●【英語以外の外国語】1, 2	●【英語以外の外国語】3, 4	中級 ●【英語以外の外国語】 -----1----- (または) I 期, II 期で履修した言語以外のいずれかの 初級 ▲【英語以外の外国語】1	中級 ●【英語以外の外国語】 -----2----- (または) I 期, II 期で履修した言語以外のいずれかの 初級 ▲【英語以外の外国語】2
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位	2 単位	2 単位

(Ⅱ期の初めにおいて言語を変更した場合の履修例 1)

I 期	Ⅱ 期	Ⅲ 期	Ⅳ 期
学部指定オビの ●【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】3, 4	言語文化Ⅱのいずれか ※ただし、以下は除く Ⅱ, Ⅲ期で履修した言語 の初級 ▲【英語以外の外国語】1, 2
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位	2 単位

(Ⅱ期の初めにおいて言語を変更した場合の履修例 2)

I 期	Ⅱ 期	Ⅲ 期
学部指定オビの ●【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】3, 4 + 言語文化Ⅱのいずれか ※ただし、以下は除く Ⅱ, Ⅲ期で履修した言語 の初級 ▲【英語以外の外国語】1, 2
1.5+1.5= 3 単位	1.5+1.5= 3 単位	1.5+1.5+2=5 単位

(3) 情報学部（自然・コン）・理学部・医学部・工学部・農学部の場合

◎通常の履修例

I 期	Ⅱ 期
●【英語以外の外国語】1, 2	●【英語以外の外国語】3, 4
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位

◎Ⅱ期の初めにおいて言語を変更した場合の履修例

I 期	Ⅱ 期	Ⅲ 期
学部指定オビの ●【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】1, 2	学部指定オビ以外の ▲【英語以外の外国語】3, 4
1.5+1.5= 3 単位	1.5+1.5= 3 単位	1.5+1.5=3 単位

⑤ 履修相談

〔ドイツ語〕 中村教員（文学部本館 4 階 419 号室，TEL：052-789-2234

E-mail：yanaka@nagoya-u.jp)

〔フランス語〕 奥田教員（文系総合館 6 階 619 号室，TEL：052-789-5459

E-mail：t-okuda@nagoya-u.jp)

〔ロシア語〕 サヴェリエフ教員（国際開発研究科棟 7 階 705 号室，TEL：052-789-4396

E-mail：saveliev.igor@f.mbox.nagoya-u.ac.jp) 4.20変更

〔中国語〕 胡教員（全学教育棟本館北棟 3 階 311 号室，TEL：052-789-4196

E-mail：hu.jie@f.mbox.nagoya-u.ac.jp)

〔スペイン語〕 志波教員（全学教育棟本館北棟 4 階 402 号室，TEL：052-789-4349

E-mail：a-shiba@nagoya-u.jp)

〔朝鮮・韓国語〕 宇都木教員（全学教育棟本館北棟 2 階 204 号室，TEL：052-789-4989

E-mail：utsugi@nagoya-u.jp)

3. 日本語

① 言語文化Ⅰ

	I 期	II 期	III 期	IV 期
学部指定オビ	日本語(口頭表現) 1 日本語(文章表現) 1	日本語(口頭表現) 2 日本語(文章表現) 2		
学部指定オビ以外			日本語(口頭表現) 1	日本語(文章表現) 1

- (1) 受講定員は原則として 20 名であり、1.5 単位の授業です。
- (2) 日本語は、外国人留学生のみ対象です。
- (3) 日本語を選択した場合、日本語(口頭表現) 1、日本語(口頭表現) 2、日本語(文章表現) 1、日本語(文章表現) 2のうちから合計 6 単位が卒業必修単位です。なお、同一名称の科目を複数履修することも可能です。
- (4) III期及びIV期の日本語は、単位補充として履修することができます。
また、各期に受講できる単位数は以下のとおりです。この上限を超えて履修することはできません。
ただし、これは言語文化Ⅰの受講制限であり、言語文化Ⅱは以下の計算式に含まれません。

【日本語をⅠ期から受講している者】

I 期 3

II 期 $6 - [\text{I 期の修得単位数}]$ (上限は 6 単位)

III 期 $6 - [\text{I 期, II 期の修得単位数}]$ (上限は 6 単位)

② 言語文化Ⅱ

対象学部(学部指定オビ)	III 期	IV 期
文・教・法・経・情報(人社)	上級日本語(文章表現) 1	上級日本語(文章表現) 2

- (1) 受講定員は原則として 20 名であり、2 単位の授業です。
- (2) 文系学部の学生の場合は、言語文化Ⅱの履修が卒業要件として必要です。
- (3) 言語文化Ⅱを言語文化Ⅰの単位補充のために受講することはできません。

③ 日本語の履修例

- (1) 文学部・教育学部・法学部・経済学部・情報学部(人社)の場合

◎通常の履修例

I 期	II 期	III 期	IV 期
日本語(口頭表現) 1 日本語(文章表現) 1	日本語(口頭表現) 2 日本語(文章表現) 2	上級日本語(文章表現) 1	上級日本語(文章表現) 2
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位	2 単位	2 単位

- (2) 情報学部(自然・コン)・理学部・医学部・農学部・工学部の場合

◎通常の履修例

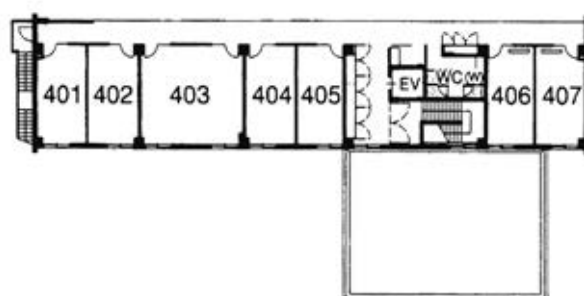
I 期	II 期
日本語（口頭表現）1	日本語（口頭表現）2
日本語（文章表現）1	日本語（文章表現）2
1.5+1.5=3 単位	1.5+1.5=3 単位

④ 履修相談

〔日本語〕浮葉教員（国際棟 4 階 403 号室，TEL：052-789-5771

E-mail：j46084a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp)

⑤ 国際棟 4 階平面図



4. その他の言語

① 言語文化Ⅱ

	春学期	秋学期
学部指定オビ以外	初級古典ギリシア語 1 初級ラテン語 1 初級イタリア語 1 初級ポルトガル語 1 中級ポルトガル語 1 ベトナム語入門	初級古典ギリシア語 2 初級ラテン語 2 初級イタリア語 2 初級ポルトガル語 2 中級ポルトガル語 2 ベトナム語入門

受講定員は原則として 20 名であり，2 単位の授業です。

(3) 健康・スポーツ科学

〔授業科目表〕

授 業 科 目		単位数	備 考
健康・スポーツ科学講義	講義	2	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（アダプテッド）	実習	1	健康・スポーツ科学実習 の選択できる種目は、全 学教育科目授業時間割表 － COURSE TIMETABLE － で確認してください。
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（テニス）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（バドミントン）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（卓球）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（ベースボール）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（ソフトボール）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（サッカー）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（バレーボール）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（バスケット）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（ゴルフ）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（トレーニング）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（スイミング）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（太極拳）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（フィットネス）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（フットサル）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（ラケット）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（エアロビクス）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（アーチェリー）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ（アルティメット）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（アダプテッド）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（テニス）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（バドミントン）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（卓球）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（ベースボール）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（ソフトボール）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（サッカー）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（バレーボール）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（バスケット）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（ゴルフ）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（トレーニング）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（スイミング）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（太極拳）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（フィットネス）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（フットサル）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（ラケット）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（エアロビクス）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（アーチェリー）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（アルティメット）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（スキー）	実習	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ（トレッキング）	実習	1	

〔履修に関する注意事項〕

全学基礎科目（健康・スポーツ科学）には、「講義」と「実習（Ⅰ・Ⅱ）」の２種類の授業科目があり、法学部、情報学部及び工学部を除いて、４単位が必修です（情報学部及び工学部は２単位必修、法学部は選択）。そのためには、「講義（２単位）」１コマと「実習（１単位）」２コマをそれぞれ履修しなければなりません。

1. 「健康・スポーツ科学講義」の履修上の注意

「健康・スポーツ科学講義」（以下、「講義」という）は、授業前にシラバスで内容をよく確認して、希望する講義（担当教員）を第３希望まで登録します。特定の教員について受講者が定員を超える場合には、調整が行われ、受講学生数に余裕のあるクラスに振り分けられます。「講義」は、講義期間中に講義室を移動して体験学習、演習などが行われることもあります。講義内容は、担当教員によって異なりますので、シラバスと第１回目の授業で内容をよく確認してください。

単位の認定は、試験（あるいはレポート）によって行われます。「講義」は、法学部、情報学部及び工学部を除くすべての学部で２単位（１コマ）が必修です。情報学部及び工学部については、「講義」または「実習」のいずれかで計２単位が必修です。

法学部については、選択履修です。

2. 「健康・スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ」の履修上の注意

（１）種目選択

「健康・スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ」（以下「実習」という）は授業前にシラバスで内容をよく確認して、希望する種目（担当教員）を第３希望まで登録します。受講希望者が各種目別の上限人数に達した場合には、抽選により種目が決定されます。第３希望までの種目に入れなかった場合には、教養教育院ホームページに掲載される「受け入れ可能な種目」を確認し、曜日・時限・希望種目を調整担当教員へメールにて連絡してください。受け入れ許可の返信を受けた場合にはポータルから修正登録を行ってください。

（２）ガイダンス

第１回目の授業は決定した種目の実施場所ガイダンスとなりますので、必ず参加してください（状況に応じてオンデマンド・ガイダンスとなる可能性もあります）。Ⅰ期１年次のガイダンス時に実習カードを作成しますので、顔写真（縦４cm×横３cm）と黒の油性ボールペンを持参してください（Ⅰ期に受講せず、Ⅱ期以降に初めて「実習」を受講する場合も同様です）。

（３）成績評価

各期に受講できる「実習」は原則１コマであり、担当教員により期ごとに出席・技能・態度等によって総合評価されます。

「実習」は、まず何よりも実践することが重要であり、したがって、休まずに授業に出席することが成績評価のための不可欠の条件です。

法学部、情報学部及び工学部を除くすべての学部で、２単位（２コマ分）が必修です。

情報学部及び工学部については、「講義」または「実習」のいずれかで計２単位が必修です。

（４）特別受講

必修単位数を超えて「実習」の単位修得を希望する場合は、授業担当教員の許可を得た上で受講でき

ます（必修受講の学生が定員を超える等の理由で受講が許可されない場合があります）。ただし、各期に受講できる「実習」は、上述のように原則 1 コマのみですので注意してください。その他の受講手続きは、必修での受講の場合と同様です。

(5) 既往症、体調不良について

実習の授業に参加するにあたり、既往症や体調不良がある場合には、ガイダンス時あるいは各回の実習開始時に必ず教員に連絡してください。

(6) 欠席の連絡

病気その他やむを得ない事情で欠席した、または欠席する時は、できるだけ速やかに(1 週間以内)、担当教員に連絡してください。連絡方法は、NUCT の「メッセージ」を利用して、担当教員（宛先を間違えないこと）に連絡するか、または総合保健体育科学センター事務室、各体育館管理人室に置いてある欠席届に記載し、担当教員または管理人等に提出してください。義務制ではありませんが、無届欠席は恣意的な欠席として処理されます。

なお、「名阪戦」、「国立七大学総合体育大会」および「東海地区国立大学体育大会」に参加するために欠席した場合、「実習」では欠席扱いにならないので、欠席を連絡する際にその旨を記載してください。

(7) 授業で使用する運動・スポーツ施設

授業で使用する運動施設は、96 ページを参照してください。授業は選択した各自の種目に基づいて指定された場所で行われます。

(8) 更衣

屋外種目の授業を受ける者は、山の上複合棟（男子）及びテニスコート管理棟（女子）の更衣室を使用してください。体育館で授業を受ける者は、体育館の更衣室を利用してください。その際、受講人数の多い場合は、ロッカーを共用して使用することもあります。更衣室は盗難防止のために授業開始時刻の 15 分前後に原則的に施錠します。

(9) 貴重品

現金・モバイルフォンその他の貴重品は自己の責任で管理してください。

(10) 服装

服装は、運動のできる、汚れてもよいものを着用してください。なお、テニスを受講する者は、テニスシューズを履いてください。また、体育館は、土足禁止であり、必ず体育館専用の靴を使用してください。

(11) 掲示

雨天時及びグラウンド状態不良時の授業場所は、全学教育科目用掲示板（全学教育棟本館 1 階）及び第 1 体育館入口、山の上新体育館入口、複合棟前、テニスコート管理棟前の掲示板に掲示、並びに教養教育院の公式 Twitter（113 ページ参照）にて情報発信します。また、1 限目については、豊田講堂前（バス停横）の総合案内所（守衛所）前にも掲示します。特に屋外で授業を受ける者は、グラウンド等の状態が良好でないことが予測されるときは、授業前に必ず掲示を見てください。なにも掲示されていないときには、平常どおり授業が行われます。休講についても同様に掲示されます。

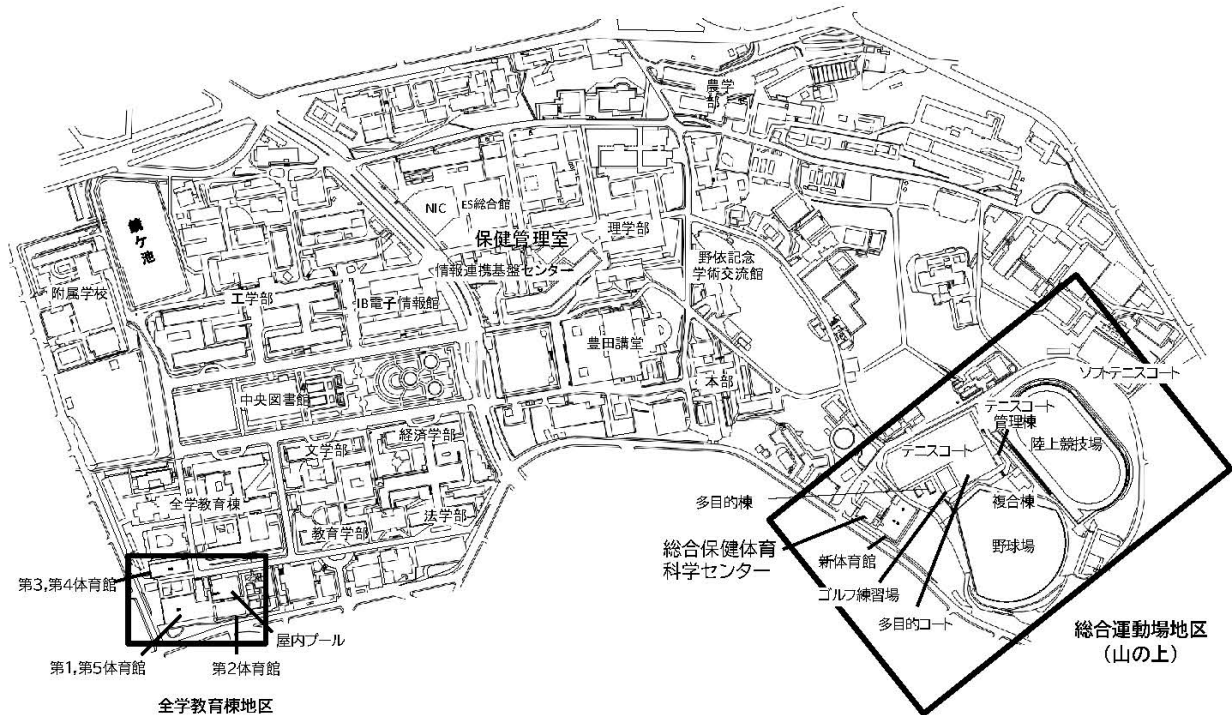
(12) 駐輪場

体育館前には、バイクや自転車の乗り入れや放置はせず、所定の駐輪場・バイク置き場に止めてください。なお、山の上総合運動場地区の野球場、新体育館方面の駐輪場は自転車専用であり、バイクの駐車は厳禁です。陸上競技方面の駐輪場は体育合宿所前にあり、自転車およびバイクが駐車できます。総

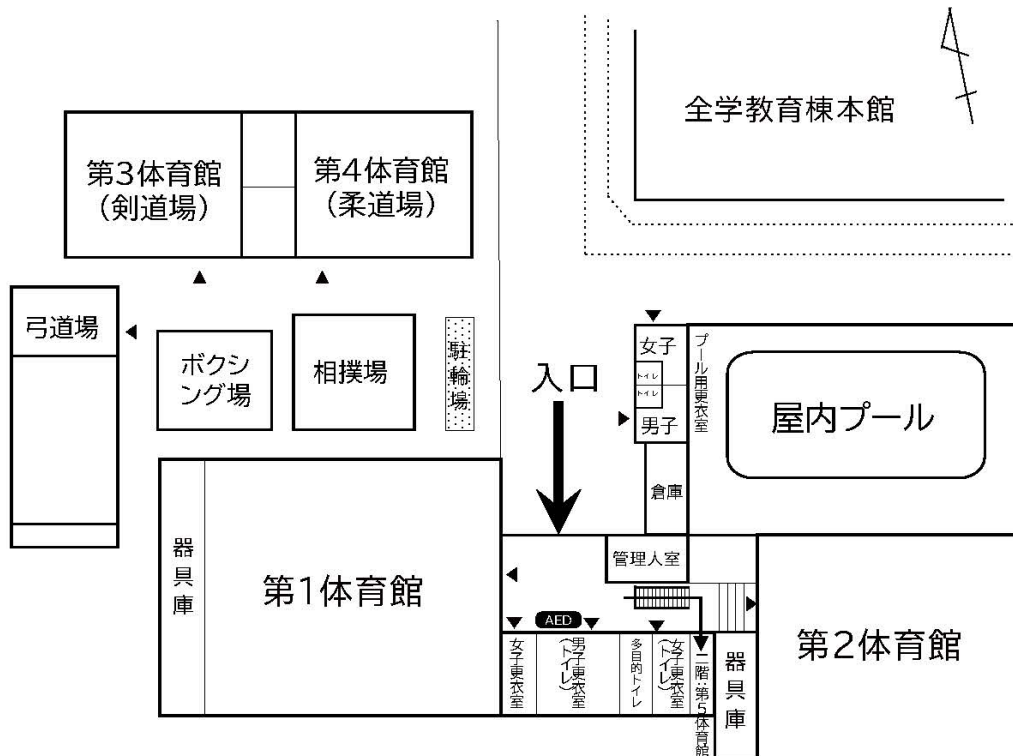
合保健体育科学センター内の駐車場内への自動車，バイク，自転車の乗り入れは厳禁です。

近隣の住民から駐輪・駐車についての苦情が多数届いており，公道への駐輪・駐車は緊急車両や一般車両，歩行者の通行の妨げになります。自転車，バイク，自転車は公道には駐車・駐輪しないでください。駐車・駐輪禁止区域に止めていた場合には移動することがあります。

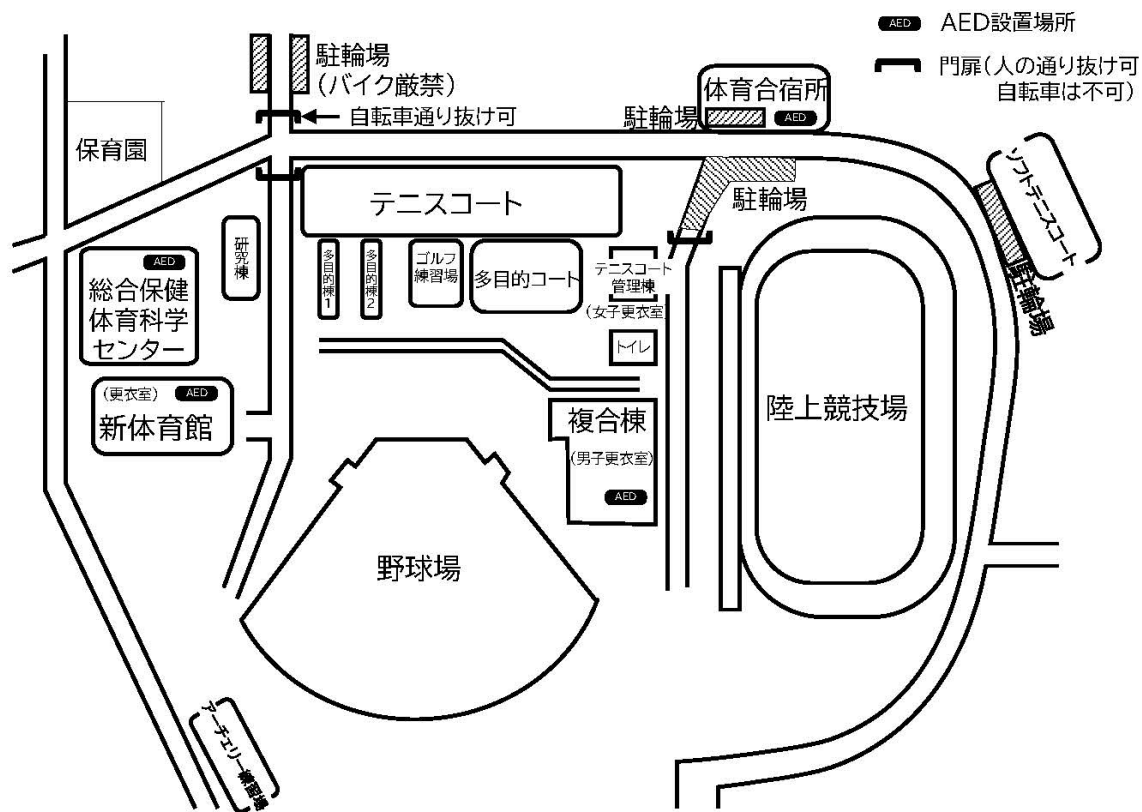
運動施設配置図



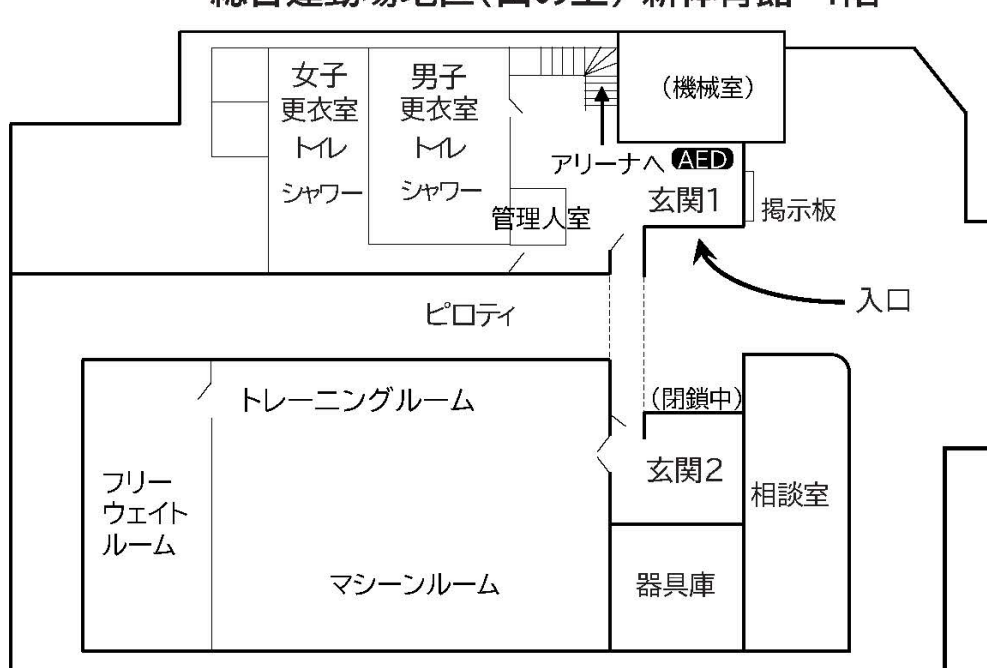
全学教育棟地区 体育館



総合運動場地区(山の上) 運動施設配置図



総合運動場地区(山の上) 新体育館 1階



(4) 文系基礎科目

〔授業科目表〕

授 業 科 目			単位数	備 考
哲学	講	義	2	
歴史学	講	義	2	
文学	講	義	2	
地理学	講	義	2	
社会学	講	義	2	
心理学Ⅰ	講	義	2	
心理学Ⅱ	講	義	2	
教育学	講	義	2	
日本国憲法	講	義	2	★
法学	講	義	2	★
政治学	講	義	2	★
経済学 A	講	義	2	
経済学 B	講	義	2	
経営学	講	義	2	
国際関係論	講	義	2	
国際開発学	講	義	2	
比較文化論	講	義	2	
比較教育論	講	義	2	
統計学	講	義	2	

〔履修に関する注意事項〕

法学部の学生は、★の科目を履修しても卒業要件単位として認められないので、注意してください。

(5) 理系基礎科目

〔授業科目表〕

授 業 科 目			
微分積分学Ⅰ	講義	2	情報学部, 理学部, 工学部, 農学部
微分積分学Ⅱ	講義	2	〃
線形代数学Ⅰ	講義	2	〃
線形代数学Ⅱ	講義	2	〃
複素関数論	講義	2	情報学部 (自然・コン), 理学部, 工学部
数学通論Ⅰ	講義	2	医学部
数学通論Ⅱ	講義	2	〃
数学入門	講義	2	文系学部 (文・教育・法・経済・情報 (人社))
力学Ⅰ	講義	2	工学部
力学Ⅱ	講義	2	〃
電磁気学Ⅰ	講義	2	理学部物理学科を志望する学生及び工学部
電磁気学Ⅱ	講義	2	〃
物理学基礎Ⅰ	講義	2	情報学部 (自然・コン), 理学部, 医学部, 農学部
物理学基礎Ⅱ	講義	2	情報学部 (自然・コン), 理学部 (物理学科を志望する学生を除く。), 医学部, 農学部
物理学実験	実験	1.5	情報学部 (自然・コン), 理学部, 医学部 (医), 工学部, 農学部
物理学入門	講義	2	文系学部 (文・教育・法・経済・情報 (人社))
化学基礎Ⅰ	講義	2	情報学部 (自然・コン), 理学部, 医学部, 工学部, 農学部
化学基礎Ⅱ	講義	2	情報学部 (自然), 理学部, 医学部 (医), 工学部, 農学部
化学実験	実験	1.5	〃
化学入門	講義	2	文系学部 (文・教育・法・経済・情報 (人社))
生物学基礎Ⅰ	講義	2	情報学部 (自然・コン), 理学部, 医学部, 農学部
生物学基礎Ⅱ	講義	2	情報学部 (自然), 理学部, 医学部, 農学部
生物学実験	実験	1.5	情報学部 (自然), 理学部, 医学部 (保), 農学部
生物学入門	講義	2	文系学部 (文・教育・法・経済・情報 (人社))
地球科学基礎Ⅰ	講義	2	情報学部 (自然・コン), 理学部, 農学部
地球科学基礎Ⅱ	講義	2	情報学部 (自然), 理学部, 農学部
地球科学実験	実験	1.5	〃
地球科学入門	講義	2	文系学部 (文・教育・法・経済・情報 (人社))
情報リテラシー (文系)	講義	2	〃
数学特別講義 (統計学)	講義	2	全学部 (英語による講義)
数学特別講義 (関数解析序論)	講義	2	全学部 (英語による講義)

〔履修に関する注意事項〕

- 対象学部 (学科) 以外の学生が履修しても卒業要件単位として認められないので, 注意してください。
- 医学部保健学科向けの物理学基礎Ⅰ及び化学基礎Ⅰは, 「授業時間割表」等では, 物理学基礎Ⅰ〔総合〕, 化学基礎Ⅰ〔総合〕と表記されていますが, 保健学科の学生はこれらを履修すれば卒業要件単位として認められます。
ただし, 医学部保健学科以外の学生が物理学基礎Ⅰ〔総合〕及び化学基礎Ⅰ〔総合〕を履修しても卒業要件単位として認められませんので注意してください。
- 「力学Ⅰ」または「力学Ⅱ」と「物理学基礎Ⅰ」は授業内容が重複しています。したがって, 「力学Ⅰ」または「力学Ⅱ」と「物理学基礎Ⅰ」を両方履修しても一方しか卒業要件単位になりません。同様に, 「電磁気学Ⅰ」または「電磁気学Ⅱ」と「物理学基礎Ⅱ」は授業内容が重複していますので, 「電磁気学Ⅰ」または「電磁気学Ⅱ」と「物理学基礎Ⅱ」を両方履修しても一方しか卒業要件単位になりません。
- 「数学特別講義」は随意科目であり, 卒業要件単位として認められません。

(6) 文系教養科目

〔授業科目表〕

授 業 科 目		単位数	備 考
生と死の人間学	講 義	2	2021 年度は開講しない
現代社会の思想的課題	講 義	2	
科学・技術の哲学	講 義	2	
ことばの不思議	講 義	2	
文化を読む	講 義	2	
表象と文化	講 義	2	
芸術と人間	講 義	2	
社会変動と人間生活	講 義	2	
人間と行動	講 義	2	
現代社会と教育	講 義	2	
教育と発達の心理	講 義	2	
現代社会と法	講 義	2	
民主主義の歴史と現在	講 義	2	
市場経済と社会	講 義	2	
産業社会と企業	講 義	2	
金融と生活	講 義	2	
グローバル化時代の国際社会	講 義	2	
開発の光と影	講 義	2	
人間と環境	講 義	2	
社会と環境	講 義	2	
比較報道・放送論	講 義	2	2021 年度は開講しない
グローバル化と国際教育交流	講 義	2	
映像とメディア・リテラシー	講 義	2	

(7) 理系教養科目

〔授業科目表〕

授 業 科 目			単位数	備 考
図情報とコンピュータ	講	義	2	
情報メディアとコミュニケーション	講	義	2	
システム工学入門	講	義	2	
情報リテラシー（理系）	講	義	2	
情報科学入門	講	義	2	
現代数学への流れ	講	義	2	
先端材料と物性物理	講	義	2	
エレクトロニクスと物性科学	講	義	2	
物理現象の科学	講	義	2	
原子・分子の科学	講	義	2	
物質世界の認識	講	義	2	
物質と材料の科学	講	義	2	
物質と科学	講	義	2	
現代の生命科学	講	義	2	
現代医療と生命科学	講	義	2	
生涯健康と医学	講	義	2	
健康増進科学	講	義	2	
遺伝子の世界	講	義	2	
食と農の科学	講	義	2	
動植物の科学	講	義	2	
微生物の科学	講	義	2	
バイオテクノロジー	講	義	2	
地球惑星の科学	講	義	2	
自然環境と人間	講	義	2	
エネルギーと環境	講	義	2	
自然環境と人間社会	講	義	2	
環境問題と人間	講	義	2	
都市と環境	講	義	2	
大気水圏環境の科学	講	義	2	
宇宙科学	講	義	2	
博物館概論	講	義	2	

(8) 全学教養科目

〔授業科目表〕

			単位数	
現代芸術論	講	義	2	
芸術と人間精神	講	義	2	
表象芸術論	講	義	2	
音楽芸術論	講	義	2	
科学・技術の倫理	講	義	2	
科学技術史	講	義	2	
科学技術社会論	講	義	2	
科学技術とジェンダー	講	義	2	2021 年度は開講しない
宗教と人類文化	講	義	2	
異文化論	講	義	2	
ビッグバンから現代社会まで	講	義	2	2021 年度は開講しない
留学生と日本	講	義	2	
名大の歴史をたどる	講	義	2	
大学でどう学ぶか	講	義	2	
キャリア形成論	講	義	2	
学問の面白さを知る	講	義	2	
大学における環境と安全	講	義	2	2021 年度は開講しない
切迫する自然災害に備える	講	義	2	
アーカイブズ学入門－文書史料の世界をあるく－	講	義	2	
人間関係とコミュニケーション	講	義	2	2021 年度は開講しない
ジェンダーの視点から考える 21 世紀の日本社会	講	義	2	
ピア・カウンセリング	講	義	2	
特別講義 (テレビ報道とメディアリテラシー)	講	義	2	
特別講義 (囲碁の世界)	講	義	2	
特別講義 (社会安全学入門)	講	義	2	
特別講義 (Studium Generale I)	講	義	2	
特別講義 (Studium Generale II)	講	義	2	
特別講義 (欧州現代事情 I)	講	義	2	2021 年度は開講しない
特別講義 (欧州現代事情 II)	講	義	2	
特別講義 (米国現代事情 I)	講	義	2	
特別講義 (米国現代事情 II)	講	義	2	
特別講義 (アジア現代事情 I)	講	義	2	
特別講義 (アジア現代事情 III)	講	義	2	
特別講義 (アジア現代事情 IV)	講	義	2	
特別講義 (日本語教育実践入門)	講	義	2	
特別講義 (青年期を考える－心の健康と将来展望－)	講	義	2	
特別講義 (Summer Camp)	講	義	2	
特別講義 (英語・プレゼンテーション A 1)	講	義	2	
特別講義 (英語・プレゼンテーション A 2)	講	義	2	
特別講義 (英語・プレゼンテーション B 1)	講	義	2	
特別講義 (英語・プレゼンテーション B 2)	講	義	2	
特別講義 (フランス語・アカデミック・ライティング I)	講	義	2	
特別講義 (フランス語・アカデミック・ライティング II)	講	義	2	
特別講義 (PBL マーケティング)	講	義	2	
特別講義 (クリエイティブイノベーション講座)	講	義	2	
特別講義 (プロジェクトマネジメント)	講	義	2	

(9) 開放科目

〔授業科目表〕

ジェンダー学基礎演習Ⅱ	演習	2	文学部	受講制限をすることもある。
中国語学文学基礎演習Ⅱa	演習	2		
中国語学文学基礎演習Ⅱb	演習	2		
音声学講義 a	講義	2		音声学講義 a を履修済であること。
音声学講義 b	講義	2		受講制限をすることもある。(英語による講義、国際プログラム群の学生向けに開放)
近代東アジア史入門	講義	2		
人間発達科学Ⅰ	講義	2	教育学部	受講制限をすることもある。
心理・教育のデータ解析	講義	2		
心理・教育の統計学(心理学統計法)	講義	2		
異文化間教育講義	講義	2		受講制限をする(30名程度、英語による講義)
社会行動学講義Ⅱ	講義	2		
法と政治の思想	講義	2	法学部	受講制限をすることもある。
現代日本の司法	講義	2		
憲法Ⅰ(総論・統治機構)	講義	4		
民法Ⅰ(総論)	講義	4		
西洋法制史	講義	4		
政治学原論	講義	4		
西洋政治思想史	講義	4		
行政学	講義	4		
統計解析	講義	2	経済学部	受講制限をする。(各講義10名程度)
経営Ⅰ	講義	2		
会計Ⅰ	講義	2		
マクロ経済学Ⅰ	講義	2		
政治経済学Ⅰ	講義	2		
一般経済史Ⅰ	講義	2		
ミクロ経済学Ⅰ	講義	2		
数理科学展望Ⅲ	講義	2	理学部	受講制限をすることもある。(英語による講義)
数理科学展望Ⅳ	講義	2		
工学概論第2	講義	1	工学部	受講制限をする。(30名程度)
工学概論第3	講義	2		受講制限をすることもある。(英語による講義)
図学	講義	2		受講制限をする。(10名程度)
電気電子情報先端工学概論	講義	2		受講制限をすることもある。(英語による講義)
化学・生物産業概論	講義	2		
環境土木・建築概論	講義	2		
Agricultural Sciences	講義	2	農学部	受講制限をすることもある。(英語による講義)
国際社会法政ー日本におけるイミグレーションー	講義	2	国際教育	受講制限をする。(学部2年生以上)
現代社会問題への多文化的アプローチ	講義	2	交流セン	受講制限をすることもある。
異文化間能力入門	講義	2	ター	受講制限をする。(20名程度) (第一回目の授業への出席は必須)
				英語による講義 TOEFL PBT523, TOEFL iBT70, IELTS 5, TOEIC730 に 近いまたはそれ以上の 英語力を有するもの。

〔履修に関する注意事項〕

開放科目は、開講部局の学生が履修しても、全学教育科目の卒業要件単位としては認められませんので注意してください。(国際教育交流センター開講の科目を除く)。

2. 開講の目的とねらい

各授業科目の「開講の目的とねらい」については、教養教育院のホームページで確認してください。

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/courses.html#subject>

